令和３年１月 15 日発行
No.353

Shining
シャイニング

発行元：社会福祉法人 拓く
TEL　0942-27-2039
FAX　0942-27-2086
http://h-polepole.com

2度目の「緊急事態宣言」が発令されました

新型コロナウイルス感染の第３波がおさまらない中、１月１３日（水曜）、福岡を含めた７つの府県に、２回目の「緊急事態宣言」が２月７日までの予定で発令されました。基本的に「感染者を増やさないために、人との接触を減らす」ということになり、誰もが仕事や私生活の中で何かと制限のある生活を送ることになります。

拓くでは、「緊急事態宣言」の発令に先駆けて、公共交通機関の使用を制限したり、利用者さんや職員以外の人たちの入室制限をかけたりと対応をしています。これまで同様にできる限りの対策を行いながら日常を続けていきたいと思っています。今後の状況でさらなる制限をかけざるを得なくなることもあるかと思いますが、早くコロナ感染がおさまっていくように、みんなで知恵を出しながら、乗り切っていきましょう。

あけましておめでとうございます

新年ご挨拶　第2弾

あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍で生活スタイルが変化した一年でしたが、その中でも、たかのフーズ様での施設外就労・厨房業務・地域食堂との連携が始まり、法人だけで完結せずに企業や地域と一緒に取り組んだ貴重な年でした。利用者さん、職員も新たな環境の中、試行錯誤しながら取り組み続け、今では仕事を担えるように力をつけてきたように感じます。

今年(2021年)の１月からは「惣菜処ぽれぽれ」と合併し、施設外就労に力をいれます。利用者さん・職員共に企業で活躍する場が増えることにワクワクしています。

まだまだコロナ禍ではありますが、動きをとめず出来ることを模索しながら新しい価値・環境・地域資源を繋ぎ、新しいチャレンジが始まる１年にしていきたいと思います。

（出会いの場ポレポレ 管理者 小川 真太朗）

職員からのあいさつリレー（年始編②）

施設外就労

年末には平地にも雪が積もったりと寒さの厳しい年始のスタートとなりましたが、高齢者施設で厨房業務をしている利用者さんは、正月から365日休みなく、みんなで協力して施設利用者の方々の食事を提供しています。

施設外就労を始めて１年2カ月が経ちましたが、今年1月18日より今までの食器洗浄や食材切り込み業務に加え、食事の配膳・院内の清掃などの新たな業務にもチャレンジします。

施設外就労を通して、施設の職員や利用者の方々の中で「社会の一員として働く」ことは、利用者さんにとって大きな自信につながっていると実感しています。新しいチャレンジに不安もありますが、利用者さんそれぞれの状況に応じての「働く」を実現できるように、共に悩み、共に考え、「みんなで一生懸命働く」を大事に、一緒にチャレンジしていきたいと思います。

（施設外就労　担当　武田 麻衣子）

出会いの場 ポレポレ

昨年は経験したことのない１年でした。コロナ禍による販売の自粛、配達先の減少など様々なことがありました。店頭に並べるパンを止め、配達先への製造に集中したことにより、利用者さんとのパン作業を丁寧に見守りながら、一緒にする時間が増えました。利用者さんの意外な一面も発見でき、新しい取り組みもできたことは、良かったことでした。

今年もスタートしましたが、コロナ感染者数も毎日のように増え続けています。自分達ができる予防対策をやっていくしかありませんが、今年の１年もコロナに負けないように利用者さんと一緒に美味しいパンを作っていきたいと思います。今年1年も、よろしくお願いいたします。

（出会いの場ポレポレ　パン担当　橋本 隼人）

グループホーム

昨年から、グループホームではコロナ禍での新しい生活様式に取り組んでいます。なるべく向き合わずに距離を取ったり、換気の方法など 3密にならないように、コーディネーター、世話人と研修を行いながら試行錯誤してきました。加えて、一番人の集まるリビングでは、可能な限りマスクをすることも取り組み始めました。当初は、環境が変わることで慣れないことに戸惑う方もいらっしゃいましたが、今では自ら距離を取って座ったり、マスク着用も日常になりつつあります。

コロナ禍でイベントなどの楽しみを実現するためには、消毒やマスク、距離を取る事、換気をする事が大事になります。これからも取り組みを続けて、コロナ禍でもできる楽しみを可能な限り一緒にしていきたいと思います。

（グループホーム担当　白數 直基）

出会いの場 ポレポレ

2021年のポレポレがスタートしました。昨年はポレポレにとっても特別な一年だったと思います。コロナの影響で、活動班もグループホーム組と在宅組に分かれての活動。日頃、普通に会えていた利用者さんも会えない日々が続きました。公共交通機関も使うことができず、新たに送迎を行いました。環境が刻一刻と変化していく中でも、日々の作業は頑張ることができました。そんな中、ポレポレでは新たなチャレンジもありました。厨房業務に利用者さんも関わり、食材の切込みから配膳、洗い物も活動に加わりました。慣れない作業が多くありますが、利用者さん・職員共に経験を重ねることで、皆で成長できていると思っています。

また、地域の方と連携して地域食堂にも関わり始めました。1月からはグループホームの夕食作りも加わり、活動内で食材の切込みチームができました。昨年からの積み重ねがあるので、皮むきなどはお手の物です。

2020年は外出等もできなかった一年。その分、今年は楽しいことだらけの一年にしていきたいと思います。もちろん、感染対策はしながら、工夫をして…。

（出会いの場ポレポレ　サービス管理責任者　児玉 元気）

出会いの場 ポレポレ

9月から利用者さんと一緒に給食の提供に関わる厨房業務、毎週水曜日の地域食堂への参画、1月からはグループホームへの配食や他施設へのお弁当の提供等がスタートし、新たな業務へのチャレンジが始まりました。

当初は職員も利用者さんも、不慣れな為に時間がかかり、ギリギリに給食を提供するなど、色々と失敗もありました。4ヶ月での経験を経て、厨房でやる事、やりたい事を利用者さんが自主的に準備や確認をしあい、地域へ入って活躍され、少しずつですが成長されている姿を見る事が私達の励みにもなり、一緒に働く事の楽しみとなっています。

コロナ禍で外出が出来ない昨今、だからこそ利用者さんにとって食事は楽しみの一つだと思います。栄養や衛生面、色彩等にもこだわり楽しんでもらえるよう、今年も『牛の歩み』で確実に一歩ずつ利用者さんと一緒に成長していきたいと思います。

（出会いの場ポレポレ　厨房担当 石橋 千鶴）